



自然共生/NP [Nature Party] Vol.1

2022.10.1 発行

発行者 自然共生党 代表 谷本誠一（呉市議会議員）

呉市本通 6-2-23 TEL : 090-7777-4768

自然共生党 HP <https://shizen-kyosei.jp/>



自然共生党とは？ 脱コロナ！護憲！（チーム日本）

生後 6 ヶ月～4 歳へのコロナワクチン接種予算化を暴露！

2022 年 9 月 16 日、谷本誠一呉市議会議員は、コロナワクチン接種補正予算 11 億 3,900 万円において、呉市が隠していた内容を暴露。即ち、60 歳以上の 5 回目接種、18 歳から 60 歳未満の 4 回目接種、5 歳から 11 歳までの 3 回目接種に加え、密かに生後 6 ヶ月から 4 歳までの接種予算が組み込まれていました。この手法は全国自治体同様とみています。

去る 9 月 2 日に、厚労省は予防接種・ワクチン分科会で初めて乳幼児接種を提案したものの、決定していない段階で、即日全国自治体に対し、乳幼児接種の準備体制を敷くよう通知を出していたのです。



ワクチンパスポート反対嘆願書を提出し事実上の停止へ！



2021 年 12 月 2 日、杉田穂高日本根本療法協會會長と谷本誠一呉市議会議員とで、ワクチンパスポート反対嘆願書を、全国 12 万人余りの賛同署名と共に厚労省に提出。それを受け、2022 年 2 月 3 日には、所掌する内閣官房コロナ室とのリモート面談を実現させました。その場で、都道府県や民間事業者による制度利用での差別化が、実質的にコロナワクチン接種への圧力になっており、憲法違反であると指摘しました。

このことが功を奏し、ワクパス制度を活用しての国のサービスに直結する手法を、当面阻止することに漕ぎ着けました。

ノーマスク宣言を提唱！マスク地獄から児童生徒を解放！

谷本誠一呉市議会議員が提唱する児童ノーマスク運動。文科省から通知された「衛生管理マニュアル」では、体育を除き、原則マスク着用となっているため、マスク自由化ができておりませんでした。

そこで、個々の宣言であれば、校長も教育委員会も拒否できないことを文科省に確認したことで、全国に 220 家庭余りが「ノーマスク学校生活宣言」等に成功しました。ノーマスクサポーター養成研修も 2 度開催し、現在 46 名を認定しています。

これらの実績を積み重ねた結果、2022 年度に入り、①多摩市②所沢市③瑞穂市④福山市の 4 市教育委員会が、事実上の学校マスク自由化を表明するに至りました。



コロナ死と PCR の偽装工作を全国で初めて暴露！



PCR 検査機



PCR 検査試薬

2021 年 3 月 2 日、谷本誠一呉市議会議員は、PCR 検査の実効性について予算総体質問しました。

その中で、2020 年 6 月 18 日に厚労省が「直接の死因に関わらず PCR 陽性であれば、コロナ死にカウントせよ」との通知を出していたことを暴露しました。更に、検査試薬の説明書には「ヒトや動物の臨床診断に用いてはならない」と書かれているとの答弁も引き出しました。

また、2021 年 6 月 15 日の呉市議会定例会では、PCR 検査の欺瞞について一般質問。検査試薬が薬機法による未承認段階で、全国自治体が検査したことは違法であると追求。加えて、PCR 検査が変異株遺伝子を検出するエビデンスの説明を求めました。

結局これらは、全て全国初の議会質問になり、呉市長として明快な答弁は一切できませんでした。これにより、PCR 検査が存在証明がされていないコロナ感染症を生み出す元凶であると喝破し、全国の賛同者、応援者を獲得しています。

呉市の米飯給食を実現、デリバリー給食を廃止に追い込む！

谷本誠一呉市議会議員は、児童生徒の健康を増進するため、平成 30 年度から、旧呉市内において、準完全米飯給食導入に成功しました。それまでのパンにおいては輸入小麦で、発癌性物質であるグリホサートを含む農薬「ラウンドアップ」が収穫時に撒かれるため、食育に足枷となるのです。加えて現代小麦は長年の遺伝子操作により、アミロペクチン A やグルテンが含まれており、血糖値上昇や肥満・老化、精神・自己免疫疾患、糖尿病、空腹感を招くとされています。

また、2015 年度 2 学期から導入された、選択制中学校デリバリー給食においては、当初から反対を表明。理由は、①選択制であるから栄養が偏る②広島市の業者に委託するため弁当箱方式で汁物がない③単価契約なので、喫食率低下により業者の経営を圧迫する④食材供給は業者任せのため、地産地消とは無縁一です。

毎年廃止を強く要求する度に、喫食率は低下。このため、ついに呉市教育委員会は、デリバリー給食を 2023 年度から 3 ヶ年かけて順次温かい食缶による暫定親子方式への転換を余儀なくされました。

更に、谷本議員は 2022 年 9 月 8 日の一般質問で、近い将来、親子方式継続か共同調理場建設の機を捉え、委託炊飯から自所炊飯に切り替えるよう提唱しました。



食缶方式の小学校米飯給食



中学校デリバリー給食の搬入

自然共生党の役員

①代 表	谷本誠一 (呉市議会議員、全国有志議員の会)
②幹 事 長	山田宏道 (神奈川県 日本と子どもの未来を 考える会副代表)
③幹 事	松岡裕子 (千葉県 元英語塾講師)
④事務局長	谷田智美 (東京都 ノーマスクサポーター)
⑤顧 問	杉田穂高 (神奈川県 日本根本療法協会会長)
⑥顧 問	小早川智 (愛知県 元理化学研究所研究員)

自然共生党の活動

2022.8.17	横浜市	桜木町駅前	ニコミ会主催「脱!!マスク サミット」	ゲスト演説
2022.8.17	横浜市	関内駅前	改憲阻止街頭演説会	
2022.9.17	東京都	新宿駅付近	ニコミ会主催「バイバイ!PCR」デモ	ゲスト演説
2022.9.18	東京都	新宿駅西口	街頭演説	
2022.9.18	東京都	池袋上映会 & 講演会	子宮頸がんワクチン被害ドキュメント	
2022.9.19	東京都	新宿駅西口	街頭演説	
2022.9.19	東京都	池袋改憲阻止講演会	(杉田穂高顧問 VS 谷本誠一代表)	
2022.10.3	呉市	街頭演説	(呉駅前、大和ミュージアム前、中通商店街)	